



【第28号】

令和2年 9月30日

福島県小名浜港湾建設事務所

おなはまみなと通信

【発行元】

福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課

☎ 0246-53-7126

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/onahama-minato.html>

三崎防波堤延伸工事

小名浜港三崎防波堤延伸工事におけるケーソン最終函の設置が行われました。

この工事は、1・2号ふ頭及び、漁港区へ入港する大型漁船の航行安全と漁港区の静穏度を確保する目的で行っており、今回の作業で防波堤を110m伸ばすためのケーソン5函設置までが完了しました。

今回の作業は、2日間に分けて行われ、ケーソンは6月25日(木)に製作場所である藤原ふ頭から西防波堤(第一)内側の港内に仮置きされ、波が穏やかになった8月6日(木)に仮置き場から設置場所である三崎防波堤先端へと運ばれました。

藤原ふ頭でケーソン5函を製作したケーソン製作台船「マリン88」は、無事に役目を果たし、6月28日(日)に小名浜港からホームである釜石港(岩手県)へ出港しました。



マリン88



START地点
藤原ふ頭

設置場所

西防波堤(第一)

2号ふ頭

三崎防波堤

仮置き場

1号ふ頭

漁港区

→ 6月28日経路
→ 8月6日経路

今後の予定

これまでにケーソンを設置し、コンクリートで蓋をすることでここまで完了しました。ここからさらに3.1m高くするためのコンクリート工事が始まります。これは、ケーソンが波の衝撃でも動かない重さにし、波浪から港内を守る防波堤の高さまで上げるための工事で、完成すると海底から高さ13mになります。

その後、防波堤周りに消波ブロック(テトラポッド)を設置し、新しい赤灯台を防波堤先端に設置するまで工事は続き、年度内完了の予定です。



消波ブロック



赤灯台



三崎防波堤先端

タイムラプス動画

2日間の様子はタイムラプス撮影をしており、約2分間の動画にまとめました。

この動画は当事務所ホームページ、または、Instagramで視聴することができます。

港湾ならではの海上工事ですので是非、ご覧ください。



↑↑↑↑↑↑↑
事務所Instagram投稿へのQRコードはこちら

小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの整備、管理及び運営を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港をはじめとしたいわき市内の港湾・漁港の復旧・復興状況や話題などみなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからもご覧いただけます QRコードはこちらです



小名浜港東港地区津波避難計画

小名浜港東港地区では、石炭をはじめ鉱産品を主に取り扱う計画であり、今年度中の完成に向け整備中です。東港地区は、沖合の人工島である立地条件から大規模な地震・津波災害の発生時には労働者や利用者などが限られた避難場所・移動手段に集中されることが想定されます。

そのため、地震・津波発生時に港湾利用者が迅速かつ円滑に避難できるよう、東港地区の一部供用に合わせて「津波避難計画」を策定しています。

東港地区浸水想定

浸水想定するにあたり、東日本大震災と将来最大クラスの津波をもたらすと想定される地震を選定し、津波シミュレーションを行いました。それぞれの結果を重ね合わせた結果、東港地区はおよそ2~4mの浸水が想定されています。

東港地区津波避難対策

「津波避難計画」では東港で被災した場合、避難目標地点をマリブリッジとし、徒歩による避難と定めています。

また、津波が発生した場合の避難経路や、津波への対応を携帯用にまとめたポケットマニュアルの作成や、避難目標地点までを示す看板の設置を行っており、東港地区で働く人々が、安心安全に作業できるよう対策しています。



東港地区避難訓練



9月17日、小名浜港東港地区において、港湾荷役関係者及び国・県・市等が参加し、避難訓練を実施しました。

計画に基づき、避難ルートの確認と避難目標地点の「マリブリッジ」まで安全に避難ができるか検証を行うもので、関係者12名が徒歩により避難経路の確認と避難時間の計測を行いました。

参加者からは「徒歩による時間を把握できた。」、「訓練内容を社内で周知したい。」、「常日頃より防災意識を持つようにしたい」等、意見を頂きました。

訓練を通して得られた意見等を元に計画の実効性を高め、いざというときに備え、よりよい計画になることを目指しています。



編集後記

みなさんこんにちは！小名浜港湾建設事務所のとしひろです！
今回紹介した三崎防波堤延伸工事の動画撮影・編集を通し、防波堤の構造や、作り方について学ぶことができました。現在も工事風景のタイムラプス撮影を行っているので、続編として、事務所HPやInstagramに掲載予定です。お楽しみに！

としひろ君

